

整形外科

1. スタッフ（2024年4月1日現在）

科 長（教授）	秋山 達
副 科 長（助教）	望月 貴夫
シニアレジデント	2名

2. 診療科の特徴

整形外科の腫瘍である骨軟部腫瘍は増加傾向がさらに進んでいる。特に整形外科で扱う悪性腫瘍は肉腫に区分され、稀な疾患で化学療法も一般の癌とは大きく異なる点がある。全国的にも扱うことができる施設は少なく、これからも引き続き日本トップレベルの症例数と内容で骨軟部悪性腫瘍診療を行い、人材育成を行っていく予定である。

当科では骨軟部悪性腫瘍に並んで脊椎疾患を精力的に扱っている。腫瘍と脊椎の境界領域として転移性脊椎腫瘍が挙げられるが、診療科として転移性腫瘍など難易度が高い症例も積極的に扱っている。

当科も新型コロナウイルス感染症の影響を受け、クラスターが発生したりして受け入れなどに苦慮したり、症例数が減少したりすることもあったがようやく安定して受け入れることができるようになり、症例数も回復傾向に入ってきた。これからも地域の最後の砦としてだけでなく、教育機関としてもより発展するべく、腫瘍と脊椎を診療の柱として、幅広く対応していく。

- ・ 認定施設  
日本整形外科学会認定専門医制度研修施設
- ・ 専門医並びに認定医  
日本整形外科学会専門医・指導医 秋山 達  
望月 貴夫  
日本リハビリテーション学会専門医・指導医 秋山 達  
がん治療学会認定医 秋山 達  
痛み治療専門医 秋山 達

3. 診療実績・クリニカルインディケーター

1) 新来患者数・再来患者数	
新来患者数	710人
再来患者数	5,481人

2) 手術症例病名別件数

手術	件数
脊椎	14
外傷	53
腫瘍	181
外来手術	0
合計	248

4. カンファランス

症例カンファ 毎週火・金曜日 17：00－19：00

5. 研究・学会活動

脊索腫前向き登録研究など国際共同研究や、骨盤悪性腫瘍術後機能回復に関する国内多施設研究などいくつかの共同研究を引き続き行っており、論文投稿準備中である。

また、研究会も複数主催・協力している。秋山は“日本骨軟部腫瘍研究会”幹事、“関東骨軟部基礎を語る会”幹事、“日本骨盤手術手技研究会”の代表幹事、“埼玉骨軟部腫瘍研究会”幹事、“埼玉整形外科手術手技研究会”幹事などを行っている。

6. 2025年の目標、事業計画等

骨軟部悪性腫瘍が希少がんであるため治療ができる医師が少ないことは繰り返し述べている通りであるが、後進の育成や地域との積極的な連携を進めながら診療レベルをさらに充実させていく予定である。国内留学生の受け入れや国内各施設からの手術見学希望者などを積極的に受け入れていく予定である。

さらに転移性骨腫瘍治療など、担がん患者に対する積極的な整形外科的治療の需要が急増しており、これらがんロコモ患者に対しても診療科や施設を超えての連携を深めて積極的に対応していく予定である。

各科連携・病病連携・病診連携をさらに進めてより良い医療ができるように力を尽くしたいと考えております。

今後とも宜しくお願い致します。